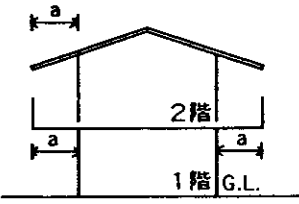
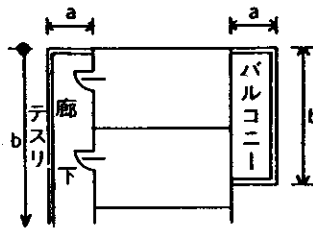
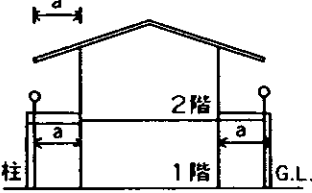
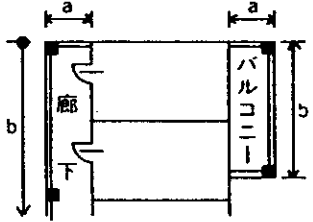
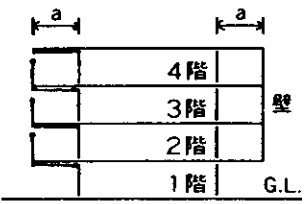
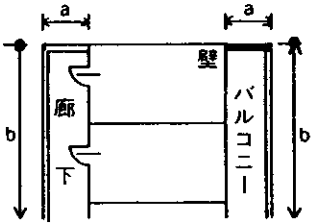
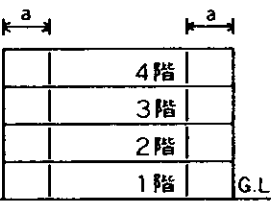
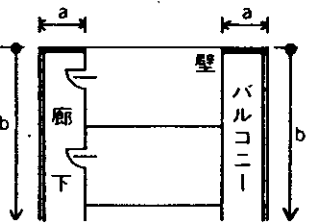


# 建築面積の算定方法について

## 1 共通事項

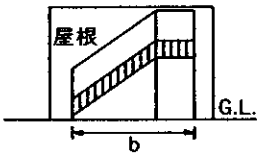
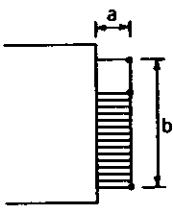
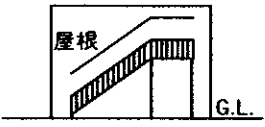
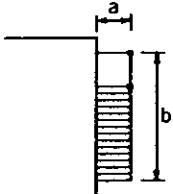
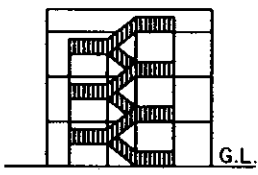
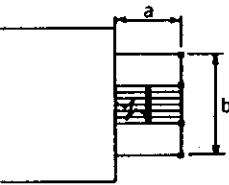
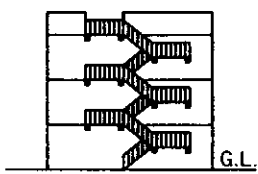
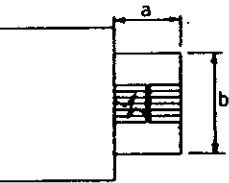
床面積の算定基準により、開放式片廊下、バルコニー、ひさし、屋根その他これらに類するもの（以下「廊下等」という。）及び階段の部分が床面積に算入される場合は、建築面積に算入する。

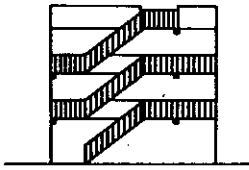
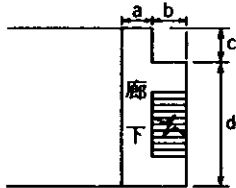
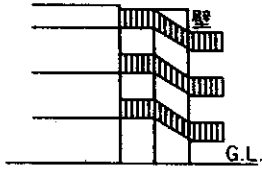
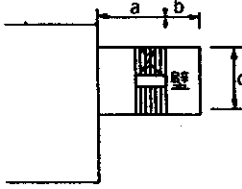
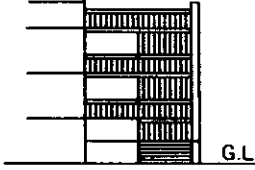
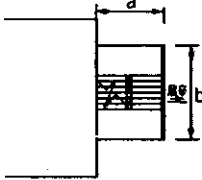
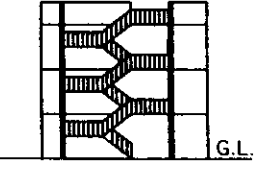
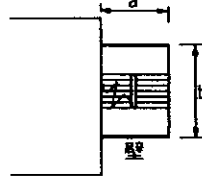
## 2 廊下等の建築面積の算定方法

	立 面	平 面	算 定 方 法
開放式片廊下バルコニー等 (廊下等)	(1) 		はね出し廊下等の場合、先端から1m後退した部分を算入する。 $(a - 1m) \times b$ (注) 2階に柱又はそで壁等を設ける場合も同様とする。
	(2) 		1階に、柱又はそで壁等を設ける場合はすべて算入する。 $a \times b$
	(3) 		はね出し廊下等の場合、先端から1m後退した部分を算入する。 $(a - 1m) \times b$ (注) 2階以上に、柱又はそで壁等を設ける場合も同様とする。
	(4)  1階に柱、壁等がある場合		1階に、柱又はそで壁等を設ける場合はすべて算入する。 $a \times b$

		立 面	平 面	算 定 方 法
屋 根 ・ ひ さ し 等  (廊下等)	(5)			<p>屋根、ひさし等の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p>ただし、<math>b &lt; 1\text{m}</math>の場合は、<math>(b - 1\text{m}) = 0</math>とする。</p> $2(a - 1\text{m}) \times (2(b - 1\text{m}) + c)$
	(6)			<p>屋根、ひさし等の先端から1m後退した部分を算入する。</p> $\pi \times (a - 1\text{m})^2$
	(7)			<p>屋根、ひさし等の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p>ただし、<math>b &lt; 1\text{m}</math>の場合は、<math>(b - 1\text{m}) = 0</math>とする。</p> $[(a + (b - 1\text{m}))] \times c$
	(8)			<p>屋根、ひさし等の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p>① <math>a &lt; b</math>の場合  <math>(a - 1\text{m}) \times b</math></p> <p>② <math>a &gt; b</math>の場合  <math>a \times (b - 1\text{m})</math></p>

### 3 階段の建築面積の算定方法

	立 面	平 面	算 定 方 法
柱 が あ る 場 合	(1) 		屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、すべて算入する。 $a \times b$
	(2) 		屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、すべて算入する。 $a \times b$
	(3) 		(1) に準ずる。 $a \times b$
	(4) 		屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、階段の先端から1m後退した部分を算入する。 $(a - 1\text{m}) \times b$

		立 面	平 面	算 定 方 法
け ね 出 し の 場 合	(5)			<p>屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、階段等の先端から1m後退した部分を算入する。</p> $(a-1m) \times c + (a+b-1m) \times d$
	(6)			<p>屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、階段の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p>ただし、<math>b &lt; 1m</math>の場合は、<math>(b-1m) = 0</math>とする。</p> $[a + (b-1m)] \times c$
	(7)			<p>屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、すべて算入する。</p> $a \times b$ <p>(注) 壁の長さが階段の長さより短い場合には、原則として壁の長さをbとする。</p>
	(8)			<p>(7)に準ずる。</p> $a \times b$

		立 面	平 面	算 定 方 法
は ね 出 し の 場 合	(9)			<p>屋根、その他これらの類するものの有無にかかわらず、階段の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p>① <math>a &gt; b</math>の場合 <math>a \times (b - 1m)</math></p> <p>② <math>a &lt; b</math>の場合 <math>(a - 1m) \times b</math></p>
	(10)			<p>屋根、その他これらの類するものの有無にかかわらず、階段の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p><math>(a - 1m) \times b</math></p>
ら せ ん の 場 合	(11)			<p>屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、踊場部分はすべて算入し、らせん階段部分は先端から1m後退した部分(斜線部分)を算入する。</p>
そ の 他	(12)			<p>屋根、その他これらに類するものの有無にかかわらず、階段の先端から1m後退した部分を算入する。</p> <p>ただし、<math>b \leq 1m</math>の場合には、<math>a</math>にかかわらず算入しない。</p> <p><math>(a - 1m) \times b</math></p>